



Kiisuki Shigikai
Dayori

きつき市議会だより

平成30年8月15日発行

特集

地域おこし協力隊
&
市議会



地域おこし協力隊の牧野正史さん。現在は大田振興課に配属され、大田地域の振興策や各種団体の活動支援を主に活動しています。人と人のつながりを大事に、イベントや会議を通じて、地域の方々と交流を深めています。

(写真右から2番目が協力隊の牧野さん)

2018

8

NO.49

特集

地域おこし協力隊 & 市議会

地域おこし協力隊とは都市地域から過疎地域等の条件不利益地域に住民票を移動し、生活の拠点を移す方を地方公共団体が隊員として委嘱し、一定期間その地域に移住して、地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域活動を行いながら、定住定着を図るという取り組みです。

本市では平成27年度にこの制度を導入し、現在7名の皆さんが様々な分野で活動しています。今回は5名の皆さんにお話しをお聞きしました。



杵築市への想いを語る隊員の皆さん



議員と対談形式で行いました

地方の生活への憧れや想い 早く地域に溶け込みたい

地域おこし協力隊に応募したきっかけは

- ・杵築市出身で都会に出ていたので、地元へ貢献をしたかった。
- ・今までは東京に住んでいたが、昔から地方に憧れていた。杵築市は空港からのアクセスも良く、家賃も安かったので応募した。
- ・移住をしてくる前に由布院と別府市に訪れたことがあり、大分県に興味があった。移住フェアに行った際にいろいろ情報共有をしていたら国東半島が面白いと聞き、杵築市が募集していたので応募した。
- ・スポーツツーリズムの募集があったので応募した。

やりがいや大変だと思うことは

- ・今までは民間の企業で数字や利益の世界にいたので、協力隊に来ていろんな方に出会い、人間味に触れて面白い。すごくやりがいがある。
- ・農業は楽しいが、一人でやるのはかなり大変だ。
- ・何をしていいのかわからないことが多い。とまどいばかりである。

今後やりたいことは

- ・農業をしたいと思ってきたが、今後地域を盛り上げていきたいので先進地に学

び、耕作放棄地で羊を飼ったり空家をリフォームして、民泊で成功している地方の方法を取り入れたりいろんな活動をやってみたい。

地域おこし協力隊はここに暮らすための手段。

杵築の城下町は素晴らしい。ここを観光地として城下町テーマパーク構想を考えている。坂道の多い城下町をVRゴーグルなどを活用して障がいのある方にも観光に訪れてくれるような活動をしてみたい。

移住のパンフレットづくりに参加したい。

当日参加できなかった
隊員のご紹介



氏名 清水 大輔 (36才)
出身地 愛知県
所属 学校教育課
活動内容 幼稚園における英語体験教室の開催、小学校外国語活動の補助、教材研究及び教材作成
採用 H28.4.1 ~



氏名 平井 智之 (26才)
出身地 愛知県
所属 協働まちづくり課
活動内容 空き家バンクの紹介、移住体験ツアーの企画調整
採用 H29.11.1 ~



地域おこし協力隊の皆さん

氏名 牧野 正史 (51才)
出身地 千葉県
所属 大田振興課
活動内容 大田地域団体の活動支援
採用 H29.12.1 ~

氏名 坪井 隆博 (48才)
出身地 杵築市
所属 農林課
活動内容 農業法人の活動支援
採用 H29.11.1 ~

氏名 柳澤 智 (42才)
出身地 東京都
所属 農林課
活動内容 地域活性化センターでの活動
採用 H30.6.1 ~

氏名 佐藤 伸二郎 (54才)
出身地 大分市
所属 商工観光課
活動内容 スポーツ合宿やスポーツ大会・イベントの取り組み、ドローンによる観光宣伝
採用 H28.5.1 ~

氏名 木村 七恵 (36才)
出身地 大阪府
所属 協働のまちづくり課
活動内容 空き家バンクの紹介・移住体験ツアーの企画調整
採用 H28.4.1 ~

他にも色々なお話を伺うことができました。当日はお忙しい中、ご協力ありがとうございました。対談の内容を少しでも市政に反映させたいと思っております。

- ・ 人口減少に対抗策を打ってもらいたい。
- ・ インバウンドはいいがお金をどれだけ落としていくのか実感がわかない。これからはお金を落としてくれる日本人を増やす努力をしてほしい。
- ・ 移住のパンフレットづくりに参加したい。
- ・ 地元雇用創出のためのビジネスモデルコンテストなどを企画してほしい。

議会、行政に対して思うことは

・ 農業などでブランド化を図り、地元産の農産物が都市圏で売れて生産者が潤って活気がある街になってほしい。

今後、杵築市はどうなっていってほしいですか

- ・ 過ごしやすい。
- ・ 空港に近く、家賃が安い。
- ・ スターバックスがない。
- ・ 出産祝いにゴミ袋をくれると聞いた。そんなことでもいいのか。

杵築市に来てみてどうですか

一般会計補正予算

8,398万2千円を追加
補正後の予算総額は212億5,398万2千円

補正予算の主な事業

コミュニティバス運行事業 …… 1,124万円

(車両購入費、山香地域の乗合タクシー事業を見直し、コミュニティバスによる定時定路線運行へ拡大を図るため)

ふるさと寄附金特産品贈答事業 …… 650万円

(ふるさと納税返礼品カタログを8,000部印刷するための経費)

官民連携地域活性化推進事業 …… 1,344万円

(「道の駅」構想に基づく調査検討するための経費)

コミュニティ助成事業 …… 250万円

(西新町区「松山鉾」の修復及び衣装等購入するための経費)

中高年移住就農給付金事業 …… 200万円

(県外からの移住者で45歳以上55歳未満の自営就農者を目指す研修生に対する補助をする経費)

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 …… 3,119万円

(牛舎等の新築・改築に補助をするための経費)

伝統的建造物群保存地区保存整備事業 …… 450万円

(伝建地区内の土塀の修復を行うための経費)

文化体育館管理費 …… 126万円

(ランニングマシン3台を購入するための経費)

平成30年 第2回定例会

6月議会の概要

会期は6月7日から6月22日までの16日間。平成30年度一般会計補正予算案や条例改正案など議案10件が上程され、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。また議員発議による意見書案1件と新浄水場建設に係る調査特別委員会の設置を可決し閉会いたしました。

主 な 議 案

条 例

杵築市犯罪被害者等支援条例の制定について
(犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定め、市及び市民等の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定めるもの)

そ の 他

和解について
(平成29年5月に発生したスクールバスの事故について、当事者間において和解が成立したこと)

発 議

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2019年度政府予算に係る意見書

杵築市新浄水場建設に係る調査特別委員会の設置及び委員の選任

平成30年 第2回定例会 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
55	平成30年度杵築市一般会計補正予算（第1号）	可決
56	杵築市国民健康保険基金条例の一部改正について	可決
57	杵築市税条例等の一部改正について	可決
58	杵築市災害被害者に対する市税の減免に関する条例の一部改正について	可決
59	杵築市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
60	杵築市介護保険条例の一部改正について	可決
61	杵築市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決
62	訴えの提起について	可決
63	和解について	可決
64	市道の路線廃止及び路線認定について	可決
〔報 告〕		
12	専決処分報告について	報告
13	一般財団法人杵築市総合振興センターの経営状況について	報告
14	公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状況について	報告
15	株式会社きつとすきの経営状況について	報告
16	繰越明許費繰越計算書について（平成29年度杵築市一般会計）	報告
17	繰越明許費繰越計算書について（平成29年度杵築市公共下水道事業特別会計）	報告
18	繰越計算書について（平成29年度杵築市水道事業会計）	報告
〔議員提出議案〕		
3	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2019年度政府予算に係る意見書	可決
〔付議事件〕		
	杵築市新浄水場建設に係る調査特別委員会の設置及び委員の選任	可決
	閉会中各委員会の継続審査に関する件	可決
	議員派遣の件	可決

6月議会において、杵築市新浄水場建設に係る調査特別委員会が設置されました。

6月4日に開催された議員全員協議会において、新浄水場建設の再検討について執行部より報告がありました。

見直し理由として

- ① 計画どおりに浄水場を建設した場合、平成33年度から収益的収支が赤字に転じることが予想され、それを補うには使用料の値上げとなるが、大幅な値上げは受益者の負担増となることから、現浄水場の長寿命化を検討。
- ② 耐用年数を超えた老朽管の突発的な管の破損箇所の修繕も必要なことから、コスト縮減も考慮した計画的な更新の検討
- ③ 適正な水道料金の試算

上記の3項目について、検討、見直しを行い、将来にわたって安定的で持続可能な水道経営が行われるような浄水場建設等の方向性を決めたいとの説明がされました。

議会としては、突然の方針転換をうけ、新浄水場計画策定年（平成17年）以降、今日迄の事業計画に係る検証、及び新水源地確保の調査並びに今後の事業計画の調査を行うため、特別委員会設置の発議があり、全会一致で可決しました。

一般質問 Q & A



平成30年第2回市議会定例会では、6月13日・14日・15日の3日間にわたり、一般質問が行われ、13人の議員が市政全般について質問しました。
 (一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



たなか しょうじ
田中 正治議員

コミュニティースクールについて

議員 杵築市教委が取り組むコミュニティースクールとは何か。

学校教育課長 学校運営協議会(以下「協議会」)を設置している学校のこと、協議会メンバーは、在籍する児童、生徒の保護者、通学区内の住民代表と校長及び教職員と学識経験者、教委が必要と認める者で運営する。杵築市では、今年度から全小学校の10校が設置。中学校は平成32年度設置を目標としている。

防犯灯の設置について

議員 通学路に防犯灯設置ができないか。

学校教育課長 県道系原杵築線やオレンジロードに限らず、交通安全及び防犯の視点から、市内通学路を点検実施した。安全面や不審者対策として防犯灯の設置が必要と思われる場所がある。設置基準とも照らし合わせ、

関係課と協議し、設置に向けて検討したい。

給食費の無料化について

議員 小、中学校の給食費の無料化を豊後高田市が今年度より実施している。本市でもふるさと納税分できないか。

教育総務課長 すでにふるさと納税分の支援策として、中学生までの医療費の無償化と小、中学校のICT整備等に活用している。毎年約1億円の給食費であり、現状では厳しい。

市道管理について

議員 市道のコンクリート舗装やアスファルト舗装について。

建設課長 小さな穴や沈下部へ簡易アスファルトにて修繕対応している。区長や住民の方よりの通報がほしい。

その他の質問

- ・JR杵築駅周辺の駐車場について
- ・橋梁の経年劣化に伴う補強や整備について
- ・認知症患者が関わった損害賠償について



ふじもと じろう
藤本 治郎議員

学校施設の整備について

議員 杵築中学校の校舎完成と体育館建設の予定は。

教育総務課長 校舎は平成31年3月16日完成予定。体育館は平成31年2月工事発注・平成32年2月完成目標。体育館の設計は榎村田相互設計九州支社、契約金額4,287万6千円、建設検討委員会は7月上旬に開催予定。

議員 杵築幼稚園の未舗装の駐車場とブロック塀の改修は。

教育総務課長 駐車場は観光客も使うので改修する。外壁は現状、危険性が無いと考えている。駐車を優先し、重伝建担当課と協議する。

(その後、厚生文教常任委員会において、外壁の一部が法令基準に適合していないため、全面撤去すると訂正した。)

城下町観光振興について

議員 城下町を迷っている方がいる。観光案内図を工夫すべきではないか。また、Wi-Fiエリ

アの拡充を。

商工観光課長 町並みに調和する多言語表示の案内板やスマホ対応のマップを含め対応していく。Wi-Fiの途切れる所は設置を検討する。

商店街拡幅延長について

議員 拡幅の経緯と今後は。

政策推進課長 昭和33年に決定。昭和56年から平成19年まで27年間かけて1,130mを拡幅。今後の事業化は現時点ではない。

議員 今後の都市計画で城下町をどう活性化につなげるのか。

市長 観光や農林水産業を踏まえ、一体的にわかりやすくやっていく。

議員 計画をいつ見直すのか。
政策推進課長 今年度から見直しを始める。

議員 空地空き店舗対策をどう考えるか。

商工観光課長 各種事業補助金制度はあるが、前年度は城下町で活用できていない。活用を推進したい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



にのみやけんたろう
二宮健太郎議員

国道213号沿いの環境整備を

議員 213号沿いの支障木と耕作放棄地の整備を。

建設課長 今年度から順次、法面の支障木、植樹帯の撤去を行いコンクリート張りによる防草対策を実施する。

耕作放棄地は所有者が分からない農地もあり現在調査をしているが、個人情報保護法の関係で納税義務者の情報も得られず調査が進まない。国もこの問題に対し基本方針を公表しており、所有権放棄制度の新設、登記の義務化などを検討し2020年までに法改正を目指すとしているので動向を注視していきたい。

議員 対応が遅ければ遅いほど農地の荒廃は進み手が付けられなくなる。急いで対応をして頂きたい。

定住できるよう政策の見直しを

議員 移住者が定住したくなる環境づくりはできているか。

協働のまちづくり課長 移住促進サイトを8月公開に向けて検

討している。また移住パンフレットの作成や移住希望者の相談や手続きのワンストップ化など新たな施策を追加する。

議員 空き家バンクの充実を。

協働のまちづくり課長 8月のサイトリニューアルに合わせて空き家バンクサイトを新設。市内不動産業者と連携のうえ、利便性の向上に努めたい。

議員 猪尾住宅はどうなるのか。
建設課長 順次、解体し現地建替は行わない。

議員 造成して定住促進を進める住宅団地として売り出すなど人口減少対策を早い段階で考えるべきだ。

自治協活動の負担を軽減すべき

議員 活動を広げていくのも大事だが、継続も大事。活動の負担が大きくならないよう頑張る欲しい。



国道沿いの支障木



たはら ゆうじ
田原 祐二議員

介護士の現状について

議員 メンタル面に問題を抱えている介護士が多く、離職者も多いと聞くが、メンタルケアの現状はどうなっているのか。

医療介護連携課長 平成27年12月1日に施行された労働安全衛生法の改正により従業員数が50人以上いる事業所では、年1回のストレスチェックをすることが義務付けられた。市内の対象事業所ですでに実施している。対象外の事業所にも「ストレスチェック制度導入マニュアル」に準じた実施をしてみようよう進めていきたい。

急傾斜地崩壊危険箇所の点検及び整備について

議員 急傾斜地崩壊危険箇所の点検・整備の状況はどのようになっているのか。

建設課長 県では、毎年出水期前点検を市と合同で実施している。対象は土砂災害警戒区域内

に要配慮者施設及び避難場所が存在する危険箇所と前年度から継続的な点検が必要と診断された箇所の合計22箇所である。点検診断結果は、すべての箇所に於いて、昨年度から大きな変化は確認されていない。要対策箇所の整備率は25.2%となっている。

議員 特に危険だと思われる場所の住民には注意喚起しているのか。

建設課長 今年度、実施した出水期前点検の結果は6月中旬以降に点検を行った地区の皆様へ点検結果を周知し、合わせて土砂災害への注意喚起も実施する予定である。

その他の質問

- ・スクールソーシャルワーカーについて
- ・女性専用の相談室の開設について
- ・介護保険料について
- ・ランドセルの中身について
- ・マンホールトイレについて

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



おの よしみ
小野 義美議員

協働のまちづくりについて

議員 協働のまちづくりに取り組む自治協の役員は頻繁に会議等があり精神的にも肉体的にも大変である。何らかの支援は。協働のまちづくり課長 自己資金を確保できる収益事業を推奨し、得た利益で報酬等を検討していただきたい。

山香地域振興について

議員 山香地域の乗り合いタクシーを廃止する理由は。また、利用者の配慮は。

政策推進課長 運転手不足の為にコミュニティバスを増便しコースやルートを広げる。

議員 山香地域ではタクシーの深夜営業が廃止されたが、市の対策は。

政策推進課長 タクシー会社には要望するが、市としての対策はとっていない。

シルバー人材センターについて

議員 シルバー人材センターの現状は。

商工観光課長 現会員128人で木の伐採、大工仕事等受注し平成29年度の実績は5,900万円である。

耕作放棄遊休農地について

議員 市内の非農地化された面積は。

農業委員会事務局長 非農地された農地は792haで市の農地の24%になる。

議員 遊休農地で課税対象面積は。また、その対策は。

農業委員会事務局長 課税対象面積は61haで、対策は大分県農業農村公社等への貸し付けを勧める。

ふるさと納税について

議員 返礼品の数、人気商品は。

政策推進課長 品数は2100点で、りゅうきゅうセット、すき焼き用黒毛和牛、温泉うなぎ蒲焼き、特選みかん、甘酒等に人気がある。

議員 返礼品は市内産か。基金の残高は。

政策推進課長 返礼品は全て市内産を使っている。基金残高は2億5千万円である。



かく 加来 喬議員

教員の労働環境改善について

議員 平成26年と平成29年に代替教員を配置できていない。代替教員の確保が困難な理由は、

学校教育課長 臨時講師は、県教委に登録した臨時講師の中から各教育事務所が希望地域等を見て派遣を決めているが、登録者数が減少している。

議員 代替教員の確保はどこが責任を負うのか。

学校教育課長 基本的には県が責任を持って登録の中から見つけるが、登録者が少ないので市教委も独自に探し、県に登録してもらい採用する。

議員 責任の所在を明確にし、代替教員を確保する事が必要。臨時講師が契約外の時間に勤務している実態は。

学校教育課長 教職員が多忙で、臨時講師も勤務時間内に業務を終わらせるのが困難。他の教職員同様、残業している臨時講師もいる。

議員 残業代は支払われているか。

学校教育課長 支払われていな

い。

議員 多忙・低賃金で残業代も支払われない事が代替教員の確保が困難な要因の一つだ。教員の勤務実態は。

学校教育課長 昨年10月の調査では、1ヶ月の学校での超勤時間は、1人当たり48時間48分。今年4月の調査では、33時間となっている。

議員 教員の残業代は。

学校教育課長 給料の4%を支給するかわりに残業代は支給されない。

議員 時間外労働の上限月45時間に近い状況で働かざるを得ない状況が続く、残業代は支払われず、休憩時間も十分確保できない状況をどう考えるのか。

学校教育課長 管理職が職員と十分話し合う機会を設けることができる。教職調整額は4%だけということではあるが、教職員と教育委員会と一緒に改善計画を進めていきたい。

その他の質問

- ・行政と自治協及び行政区について
- ・コミュニティバスと乗合タクシーについて
- ・図書館の充実について

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



まさこ のりお 真砂 矩男議員

新浄水場事業について

議員 この3月に県の許認可を受け、5月末に実施設計ができ上がったというのに事業の見直しが唐突に言われているが何時、誰が決めたのか。

上下水道課長 大きく二点あり、一点目は建設に40億円かかり老朽管の更新等で水道事業の運営ができなくなる。二点目は現浄水場の対応年数が15年残っており改良更新を行い受益者の負担を軽減したい。4月に市長、副市長などに報告した。

議員 課長は他から異動した2ヶ月、40億円の大事業は今のうちにこれまでに試算はしてこなかったのか。前市長の時代に浄水場用地の購入、取り付け道路の建設等で2億、さらにその後二度の基本設計や実施設計で1億3,000万円以上もかけており、今年の3月当初予算では4億2,000万円も造成工事や建設費を計上している。永松市長が5年前就任当初に見直しを言ったのならこんなに腹は立た

ない。現施設を今頃改修などというが、費用はどれ程かかるとみているのか。

上下水道課長 概算だが16億から20億円は必要と考えている。

議員 おいしい水を毎日確保しながらの改修は困難だと思う。浄水場は40数年経ているが、貯水池は59年になる。八坂川の水だけでなく、議会が提案した山香の湧水を導入すること等検討もしていない。

議員 最近杵築市が「夢のない杵築になっていく」という人がいるがどう考えるか。

市長 行き当たりばったりではないかと言われるところもある。これは猛省をして皆さんの声も聞き、市民に語りかけ、市の方向性、理想を持ち真剣に頑張り、これからも精進したい。

その他の質問

- ・防犯対策について



浄水場



こはる
小春 穂議員

杵築インター整備構想について

議員 県との協議はどうなっているのか。

政策推進課長 現在、県道大田杵築線側から奥側を活用予定であるが、多機能型交通結節点基盤整備検討調査事業により、交通シミュレーションによる出入口、進入路、駐車場、用地内における建築物の配置などを複数案策定し比較検討する。今後施設整備費、運営費など概算事業費を算定しながら県と施設配置や負担割合など詰めていく。

議員 県の空港道路事務所と道の駅予定地の面積配分は。

政策推進課長 全体面積1万3千平方メートルの内、道の駅は9千平方メートル前後になる予定である。

議員 インターは、観光入口拠点として高速バス停、タクシー待機所、その他待合所、観光案内所、道の駅等の機能施設を強化すべきではないか。

政策推進課長 交通の結節点に

なるので、基本的には地域外からお客様を呼び込む「ゲートウェイ型」の道の駅、そして、インバウンドも含めた観光振興や産業振興が期待できる道の駅として整備していく。

議員 道の駅の建設や運営は、民でできることは民で行うべきと思うが。

政策推進課長 観光案内所は観光協会に、物産直売所は地域商社に、など運営事業者と十分協議していく。

議員 1,340万円の調査費が予算化され、今後急ピッチで調査が進むと思うが目標開場年はいつ頃になると思うか。

政策推進課長 進入路の問題、施設の移築、負担金等の調整もあるが、ある程度今年中に協議を進め、平成34年くらいにオープンにこぎつけたい。

その他の質問

- ・杵築ブランドや特産品について
- ・株式会社きつとすきの業務について
- ・アンテナショップ「クワトロヨッチ」について

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



あべもとちか
阿部素也議員

地域商社『株式会社きつとすき』について

議員 杵築市や、市内の経済団体の出資のもとに設立されたこの会社はどんな会社か。

商工観光課長 特産品はもとより観光資源を含め、市を丸ごと売り込む会社である。商品については、卸として県内外に売り込み、品数や販路の拡大を図りたい。自主事業として土産品などの開発を行う。

議員 なぜ今、地域商社なのか。

商工観光課長 よいものを作っただけでは売れないという課題がある。事業者が代わって市場調査、販路開拓、決済事務などを行う会社があればという考えである。

議員 大蔵社長のこれまでの知見を活かしてぜひ頑張ってもらいたい。

公有施設の使用について

議員 公民館などの使用料条例の中に営利・非営利とあるが。



杵築中央公民館(きつき生涯学習館)

財政課長 公の施設について地方自治法上は「住民の福祉を増進する目的に利用すべき」とあるが、公民館などについて社会教育法上は「原則非営利目的の利用のみ」となっている。ただし、文科省より「営利事業にかかわることを全面的に禁止するものではない」との通知あり、市の条例も「地域振興を活動目的とした団体が地域活性化につながる事業を実施する場合は許可する」としており、ここで営利・非営利の判断が求められる。

議員 判断基準が分かりにくいと思うが。

財政課長 統一した判断基準を作成する。

議員 いろんな企画で、まちづくりに取り組んでいる団体が簡単に安く施設を利用できるような制度にしてほしい。



ほり のりよし
堀 典義議員

国道213号沿線の振興について

議員 通行車両減少で衰退気味の沿岸部に対する振興策の検討を。

政策推進課長 守江湾沿線のカキ・ハモのグルメイベントの開催、テニスやマリンを活用したスポーツ合宿の誘致。さらにレンタサイクル事業化に向けた社会実験を予定。沿線に人の流れを創出したい。

水産業の振興について

議員 アサリ資源回復の取組みは。

耕地水産課長 海底耕うん、ケアシエル設置などを取組んでいる。

議員 回復スピードのアップを。耕地水産課長 すぐに回復するとは言えないがスピードを上げたい。

議員 カキ養殖場の堆積物対策を。

耕地水産課長 状況調査をしたい。

議員 カキを杵築ブランドとして事業展開できないか。

市長 生食で安全性を出すと杵築ブランドにもなれる。多くが杵築で流通するならば、東京とか関西など出口戦略もきちんとやりたい。

中心市街地の活性化について

議員 空き地利用で核となる施設の設置や屋台村などの検討を。

商工観光課長 調査・研究したい。

議員 観光客のためJR杵築駅にサイクルステーションなどの設置を。

商工観光課長 今年度、実施予定。

議員 観光客の滞留のため、有料の食べ歩きマップなどの検討を。

商工観光課長 観光協会に提案し、中心市街地の活性化に取り組む。

新病院建設について

議員 山香病院の前年対比実績は。

医療介護連携課長 山香病院の入院患者は昨年比1.2%減。

議員 杵築地域の利用者増加が経営的に重要である。取組みは。

医療介護連携課長 地域連携室の機能強化や健康出前講座の実施。



このの まさはる
河野 正治議員

立石小学校の現状と統合協議の状況について

議員 立石小学校の現状と統合協議の状況について。

教育総務課長 全校児童数は25人で5クラス編成である。統合協議については平成27年度以降実施していないが、PTA会長及び区長会長には年度初めに依頼している。

議員 保護者及び地元住民の理解は深まったと考えているか。

教育総務課長 PTAが実施したアンケートによると、まだ多くの同意を得られる状況でないと感じている。

議員 児童数が20名前後で推移する平成35年度迄を目安に統合延期する考えはないか。

教育総務課長 多様な意見がある中、地域のまとまりを欠く進め方は本望でない。同意を得ることは必要不可欠であるが委員会としての責務は果たす。議員の意見を参考にして学校関係者と相談し進めたい。

子育て環境の改善について

議員 医療費助成を拡大し高校生までできないか。

子ども子育て支援課長 高校生まで拡大した場合の財源や費用対効果について検証したい。

議員 学校給食費の無料化について。

教育総務課長 当面は他市町村の動向及び実施市町村の効果を見たい。

市長 子育て環境の改善が労働力の確保や人口減少歯止策であるとのこと指摘はもつともだと思ふ。給食費や高校3年生までの医療費無料化については検討したい。ただし色々問題課題があり、結果については議会に報告する。

その他の質問

・市立幼稚園の概要と今後の方向性について





いわお いくお
岩尾 育郎議員

住吉住宅について（農協旧中支所の活用について）

議員 市営住吉住宅の一番古い棟は解体が進んでいるが、跡地の利用計画は。

建設課長 市営住宅として現在地での建て替え計画はない。普通財産への所管替えをする。

議員 跡地を分譲する計画はないのか。

財政課長 分譲宅地が望ましいと考えている。

議員 何区画程度造成できるのか。

財政課長 一区画百坪として26区画程度となる。

議員 住吉住宅の跡地を分譲して、先般予算を計上した若宮中駐在所横の市有地の分譲計画を見直す考えはないか。簿価3千万円の土地に4千万円かけて6区画造成し、3千万円で売るより、農協旧中支所の土地と交換できないか。以前から言っているように農協の旧中支所の事務所・倉庫を市のものにして、山香地区の地域振興の

中核施設にしてもらいたい。そのためには農協が一番欲しいであろう若宮の市有地との交換であれば話ができるのではないかと。

市長 市外の方から、あの倉庫は魅力的だという話を頂いたこともある。ただどのような利用方法がいいのか、どうすれば持続可能な施設になるのかを十分検討する必要がある。まずは市内外からいろいろな知恵を集めてシミュレーションをしてみたい。

その他の質問

- ・急傾斜地対策について
- ・市立図書館について
- ・山香トレーニンングセンターについて



農協旧中支所

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



わたなべ ゆじ
渡辺 雄爾議員

国民文化祭おいた2018、第18回全国障害者芸術文化祭について

議員 国民文化祭、障害者芸術文化祭は本年10月6日から11月25日までの2ヶ月間にわたり、県内を5つのエリアに分けて行われる。基本方針は街にあふれ、道にあふれる県民総参加のお祭り。全国の人に大分県を知っていただき国民文化祭で文化の国体であると思う。きつき大茶会は具体的にどのような取り組みを行うのか。

文化・スポーツ振興課長 杵築市は県内一の生産量と品質を誇るお茶処であり、古くから茶道の盛んな土地でもあることから、おおいだ大茶会のコンセプトを代言すべく、杵築市のリーディング事業としてきつき大茶会を行う。10月21日の土曜日と22日の日曜日に北台や酢屋の坂周辺の広場や南台を会場として開催し、目玉は緑茶や紅茶、コーヒーなど世界各国のお茶を楽しむ

ことにある。大茶会以外にも5つの事業がある。1つ目は生活芸術の祭典、2つ目は天下御免のどぶろく祭り、3つ目は障害者芸術文化展、4つ目は山香ふるさとまつり、5つ目は着物の祭典である。

議員 残すところあと4ヶ月。文化祭の広報、審議会等は開催しているのか。

文化・スポーツ振興課長 各事業部会という形で開いており、その中で一つ一つ詰めていっている。広報については7月から市の施設や金融機関、病院などでポスターの掲示、市のウェブサイトで紹介している。

教職員の不祥事案について

議員 昨年12月に教職員の不適切な事案があって新聞報道が3月。事件に対する報告が遅過ぎではないか。

教育長 当事者を含む関係者に事実確認をしていたため、時間を要した。決して報告が遅れたとは思っていない。



産業建設常任委員会行政視察

山形県寒河江市・天童市・南陽市

寒河江市は施設開発及び整備のコンセプトとして、まちづくりに市特産品であるさくらんぼを取り入れてきた。道の駅「寒河江チェリーランド」建設にあたってはコンセプトを全面に打ち出し、物産観光の振興と文化交流施設として、また情報発信基地として整備している。杵築市の道の駅建設に向けての集客施策、運営形態等の参考としたい。

天童市及び(株)和農産は100%国産原料にこだわった飼料に取り組むことで、肉質向上や飼料単価引き下げを実現し、安定収入及び初期投資の安価に繋げている。地元貢献の観点からも、行政主導で肥育農家・稲作農家・JA等共同で取り組み、杵築ブランドを確立する必要性を感じた。

南陽市では地元産木材を使用した世界最大の木造ホール（文化会館）を建設している。地元木材を利用し、地元雇用や経済効果を波及させるためには3～5年かけて木材調達する必要があるが、南陽市のような巨大な文化会館ではなく、身の丈にあった文化会館を造る事は十分可能であり、文化会館の建設を望む市民にとっても有効であると思われる。



厚生文教常任委員会行政視察

北海道芽室町・釧路市



芽室町の農福連携事業は、この町で育った障がいのある人たちにも収入がある働きをしてもらいたいとの考えから、障がい者の自立に向けた雇用の場の確保をするために農業を事業とする新たな福祉就労事業所、九神ファームめむろが誕生した。これは芽室町長の強い想いに応えた愛媛県の会社が自社製品に十勝ブランドを使用したいとの想いが合致した結果であると思われる。これにより障がい者には最低賃金ながらも収入があり、本人たちはもとより家族、保護者も喜んでいるということであり、素晴らしい取り組みである。

釧路市の基礎学力保障条例は釧路市の子どもたちが全国学力テストにおいて、全国平均を下回ったことを危惧した釧路市議が、超党派により議員連盟をつくり、条例化に取り組み、制定にいたった。この条例は市長、教育委員会、小中学校、議会、保護者、地域の団体等の6者の責務、努力規定を明確にしている。このことにより釧路市全体で子どもたちの学力向上に向けた取り組みを行っているとのことである。この条例を制定する過程として何度も勉強会を開催し、議会発議で条例を立案しており、本議会としても参考になるものであった。



杵築市の地域医療を考える特別委員会行政視察

豊後大野市

豊後大野市民病院は、昭和42年に農協の前身である産業組合診療所として開設された。

その後、診療所から病院へ規模を拡大し、平成16年4月から現在地にて診療開始し、経営は農協から旧緒方町へ、合併後は豊後大野市へと移管してきた。平成22年10月1日に大分県立三重病院と統合し、周辺地域の中核病院としての役割を担っている。

少子高齢化の中、地方の人口減少に歯止めがかからない状況下、どこの自治体病院も課題が山積している。働き手の確保から経営の健全化と、どれを取っても深刻な状況で明るい要素はほぼ無い。しかしながら、地域医療をどう確保していくかが自治体の責任でもあるが、限界が目の前に来ているのも否めない。

まず、働き手の確保だが、医療の現場では医師のサポートをする担当者が重要であり、職場の環境整備が重要、また、女性の多い職場だけに子育て環境への気遣いは必要である。次に医師の確保だが、大学病院や大分県との連携が重要で、自治体病院は副業ができないために敬遠されるケースもあり、特に医師は症例が多い病院を選ぶ傾向があるので特色を打ち出せる病院作りに取り組む事も生き残りの条件のようだ。

今、山香病院も同じことが言えると思う。地域医療の確保を存続させる意義とあくまでも経営という視点で動くのが、一つの分かれ道になると思う。行くも行かずも、地方の地域医療には覚悟して取り組む必要があると感じた。



中山田昭徳 議員 議員勤続15年表彰

全国市議会議長会第94回定期総会が、去る5月30日に東京国際フォーラムで開催され、中山田昭徳議員が市議会議員在職15年表彰を受けられました。



中山田昭徳 議員

【初当選年月・当選回数】
平成11年4月・5回

【議員経歴】
厚生文教常任委員長
産業建設常任委員長

【現在】
杵築市議会議長
大分県後期高齢者医療
広域連合議会議員

中津市へ災害見舞金を贈呈

4月11日未明に発生した大規模な土砂崩れにより、甚大な被害に見舞われた中津市を、6月4日（月）に中山田昭徳議長と真砂矩男議員会会長が訪れ、議員全員からの災害見舞金を藤野中津市議会議長に手渡しました。



平成30年 第3回定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

8月31日（金）	開会	9月12日（水）	決算特別委員会
9月4日（火）	一般質問	9月13日（木）	産業建設常任委員会
9月5日（水）	一般質問・議案質疑	9月14日（金）	厚生文教常任委員会
9月6日（木）	一般質問予備日	9月18日（火）	総務常任委員会
9月11日（火）	決算特別委員会	9月20日（木）	閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映されます。

議会だよりをもっと皆様にご覧いただくべく、広報誌コンクールで優秀な成績を収められている広島県廿日市市議会へ行政視察に行つてまいりました。広報委員の議員さん方より、その編集についての説明をして頂きました。

基本的に1年間に4回しか発行されない本紙ですので、できるだけ早く改良を加えていこうという思いから、早速レイアウトなどのマイナーチェンジを図ってみました。表紙からの3ページには特集記事を組んでみました。また、文字サイズを大きくするため、各議員の一般質問欄の字数制限を600字以内としました（皆さん苦勞されたようですよ）。いかがでしょうか？

今後多少しでも良い広報紙になるように努力してまいりたいと思います。ご意見・ご要望があれば遠慮なくお申し付け下さい。

今回も『杵築市議会だより』を読んでいただきありがとうございます。

広報広聴委員会 阿部素也

編集後記